

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 8 月 23 日 (2007.8.23)

【公表番号】特表 2007-519020 (P2007-519020A)

【公表日】平成 19 年 7 月 12 日 (2007.7.12)

【年通号数】公開・登録公報 2007-026

【出願番号】特願 2006-518628 (P2006-518628)

【国際特許分類】

**G 0 2 C 7/02 (2006.01)**

**G 0 2 C 13/00 (2006.01)**

**B 2 9 C 45/37 (2006.01)**

**B 2 9 L 11/00 (2006.01)**

【F I】

G 0 2 C 7/02

G 0 2 C 13/00

B 2 9 C 45/37

B 2 9 L 11:00

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 5 月 28 日 (2007.5.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の主面および第 2 の主面を具備し、前記第 1 の主面は第 1 の軸を中心にして回転対称であり、さらに前記第 1 の主面は前記第 1 の主面および前記第 1 の軸の交差点に位置する第 1 のレンズセントレーションマークを具備するレンズ。

【請求項 2】

第 1 の軸を中心として回転対称な第 1 の主面および第 2 の主面を有し、かつ前記第 1 の主面と前記第 1 の軸との交差点に位置する第 1 のレンズセントレーションマークを前記第 1 の主面に有するレンズを、前記第 1 のレンズセントレーションマークが圧盤の回転軸上に位置するように前記圧盤上に配置するステップと、

前記圧盤の前記回転軸に直交する回転平面に対して前記レンズを水平にするステップと、

前記圧盤の前記回転軸を中心にして前記レンズを回転させるステップと、

回転中または回転後に前記レンズを観察して、前記レンズの前記第 1 の主面のセントレーションを評価するステップとを含む、  
レンズのセントレーションを測定する方法。

【請求項 3】

第 1 の軸を中心として回転対称な第 1 の主面および第 2 の主面を有し、かつ前記第 1 の主面と前記第 1 の軸との交差点に位置する第 1 のレンズセントレーションマークを前記第 1 の主面に有するレンズを、圧盤上の第 1 のレンズ位置に配置するステップと、

前記レンズが前記第 1 のレンズ位置にあるときの、前記第 1 のレンズセントレーションマークの第 1 のマーク位置を求めるステップと、

前記レンズを第 2 のレンズ位置に位置決めするステップと、

前記レンズが前記第 2 のレンズ位置にあるときの、前記第 1 のレンズセントレーション

マークの第 2 のマーク位置を求めるステップと、

前記第 1 のレンズセントレーションマークの前記第 1 のマーク位置および前記第 2 のマーク位置を比較するステップとを含む、

レンズのセントレーションを測定する方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 2】

レンズ 4 1 0 の振れおよび振れの位置を決定した後、第 2 の主面 4 2 0 上に位置する第 2 のレンズセントレーションマーク（たとえば、図 2 A ~ 図 2 B のレンズ 1 0 0 の第 2 のレンズセントレーションマーク 1 4 0）を用いて、第 2 の主面 4 2 0 のセントレーションを決定することができる。顕微鏡 4 6 0 は、レンズ 4 1 0 の第 1 の主面 4 1 2を通して第 2 の主面 4 2 0 上の第 2 のレンズセントレーションマークに焦点を合わせ、第 2 のレンズセントレーションマークは回転軸 4 4 2 上にあるように位置決めされる。続いて、レンズ 4 1 0 の第 2 の主面 4 2 0 の振れを決定するために、上述の方法が繰り返される。さらに、第 2 の主面 4 2 0 の振れの方法はまた、本願明細書に記載される技術を用いて決定されてもよい。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 8 3】

【図 1 A】本発明によるレンズセントレーションマークを有する 1 つのレンズの概略平面図である。

【図 1 B】図 1 A のレンズの一部の概略断面図である。

【図 2 A】本発明の一実施形態による第 1 のレンズセントレーションマークおよび第 2 のレンズセントレーションマークを有するレンズの概略平面図である。

【図 2 B】図 2 A のレンズの一部の概略断面図である。

【図 3 A】本発明の一実施形態によるレンズ金型を具備するレンズ金型装置の概略断面図である。

【図 3 B】図 3 A のレンズ金型の概略断面図である。

【図 4】本発明の一実施形態による金型セントレーションマークを有する金型ピンの概略断面図である。

【図 5】本発明の一実施形態による少なくとも 1 つのレンズセントレーションマークを有するレンズのセントレーションを測定するセントレーション測定システムの概略図である。

【図 6】複数の回転位置で示された図 5 のレンズの概略上部平面図である。

【図 7】図 5 のレンズの一実施形態の概略上部平面図である。

【図 8】本発明の一実施形態による少なくとも 1 つのレンズセントレーションマークを有するレンズのセントレーションを測定する別のセントレーション測定システムの概略図である。

【図 9】本発明の一実施形態による第 1 のレンズセントレーションマークおよび第 2 のレンズセントレーションマークを有するレンズの概略断面図である。